

令和3年度 第1回 伊勢市障害者施策推進協議会 結果概要

開催日時	令和3年7月29日（木曜）19時00分～20時20分
開催場所	御薊公民館講堂
出席委員	宮崎 吉博 会長、斎藤 茂 副会長、河之口 学 委員、大杉 成喜 委員、 嶋垣 智之 委員、小林 えり子 委員、中森 忠司 委員、三宅 浩 委員、 溝井 力 委員、金子 直由 委員、成瀬 和久 委員、田垣 実 委員、 前田 麗子 委員、中本 龍二 委員、浅尾 賛平 委員、中村 稔 委員、 高原 孝祐 委員、越知 ひとみ 委員、森 美穂 委員、川口 恵子 委員
事務局	高齢・障がい福祉課長・障がい福祉係長、 健康福祉部参事兼福祉生活相談センター長・総合相談係長・職員2名、 ・共生事業係職員1名
傍聴者	こども発達支援室長、学校教育課副参事 5名

1 委嘱状の交付等

委嘱状（任期：令和5年3月31日まで）については、机上交付。
新たに就任した委員8名を紹介。

2 市長あいさつ

生活サポートセンターあゆみの開設に続き、本年4月からは、複合的な悩みごとに対応する包括的な支援体制として、「福祉生活相談センター」を、本庁舎内に新設したところである。

新型コロナの影響は経済活動の停滞のみならず、地域の様々な活動、顔の見える関係性の維持という部分への影響も大きく、この対策にも取り組んでいく必要があると考えており、皆様のご協力をお願いしたい。

少子高齢化、人口減少などにより、20年後の自治会、まちづくり協議会、ボランティア団体など地域を支える活動をしていただいている人材の確保・育成が課題と考えており、昨年度から議論をスタートしている。地域での協議、対策も進めていきたいと考えており、引き続き、ご理解ご協力をお願いしたい。

3 正副会長の選出

委員の互選により、会長に宮崎委員、副会長に斎藤委員と決定。

（会長あいさつ）

障害者計画の策定にも携わらせていただいたので、その目標値に少しでも近づけるよう全力を注いでいきたい。障がい者の親亡き後のことが非常に大きく取り上げられており、このニーズはかなり大きなものである。少しでも障がい者の生活がより豊かになるように頑張っていきたい。

コロナについては、障がい者や家族にも影響を及ぼしており、未だ先の見えない状

況にあるが、現実には即した協議会にしていきたいと考えているので、ぜひとも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いしたい。

(副会長あいさつ)

障害者団体連合会の代表として参加している。障がいのある人の施策について、委員の皆様と一緒に考えていきたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

4 伊勢市障害者施策推進協議会の体制等について

事務局より、協議会の体制、所掌事務、自立支援部会、手話言語等コミュニケーション部会などについて説明。

(委員からの意見等)

- ・ 医療的ケア児者の支援検討に期待するが、重症心身障がい者の支援についても併せて検討をお願いしたい。
⇒プロジェクトチームのメンバー構成等ご意見を踏まえて検討していく。
- ・ 就労支援チームのメンバーとして参画していたが、今後の会議の予定等わかれば教えてほしい
⇒自立支援部会の委員に増員、異動がある。プロジェクトチームのメンバー及び会議の予定等についても確定次第、早急にお知らせする。

5 伊勢市障害者計画・第5期障害福祉計画等の進捗状況について

事務局より、令和2年度までの進捗状況を報告。評価に対する協議会意見案について協議いただく。

(委員からの意見等)

- ・ 第5期障害福祉計画P D C A管理シートの令和2年度協議会等意見(案)にある「一般企業の情報が障がいのある人へ届くような制度設計、マッチング機能の充実」とは、具体的にどのようなことか。
⇒障害者雇用の経験のない企業や障がいのある人へのきっかけづくりとして、「障がい者就労体験サポート事業」を実施している。
- ・ 計画相談支援事業所については、量の確保も課題なのではないか。
⇒おっしゃるとおりであり、体制整備に努めていきたい。
- ・ 障害者計画にもあるが、災害時の避難先、避難所において必要な配慮など、障がい者団体などと一緒に検討を進めてほしい。
⇒指定避難所等での生活が難しい人を受け入れる二次的な避難施設として「福祉避難所」がある。災害対策基本法も改正され、個別避難計画の作成が市町村の努力義務となっている。このようなことも踏まえ、要配慮者の避難支援を実効性のあるものとしていきたい。障がい者団体の皆様のご意見をいただきながら検討していきたい。
- ・ 地域生活支援拠点については、各事業所の協力が必要不可欠であると考えますが、具体的にどのように進めていくのか。
⇒各事業所のご理解ご協力が必要であることから、制度や報酬等の仕組みを丁寧に説明し、機能を担っていただく事業所としての登録を促進していく。

- ・ 地域生活支援拠点の整備状況については、保護者の関心も高い。福祉避難所のことなどもそうだが、わかりやすい周知に努めていただきたい。
⇒今回の計画の進捗状況の公表なども含め、今後とも、わかりやすい周知に努める。

6 障がい者差別に関する相談件数報告

事務局より、令和2年度上半期の三重県及び県内市町(伊勢市の相談件数は「0件」)等への相談件数について報告。

7 令和3年度障害者就労施設等からの物品等の調達方針について

事務局より、優先調達の令和2年度実績及び令和3年度調達方針を報告。

8 障がい者虐待防止について

事務局より、令和2年度障がい者虐待対応件数及び令和3年度障がい者虐待防止啓発活動等を報告。

(委員からの意見等)

- ・ あらゆる問題の入り口は相談機能となる。相談機能が充実していないと、全ての施策が駄目になる。心配なのは、コロナ禍で、子どもたちや障がい者への虐待等が増えていると言われている。このようなことから、分析をしっかりとお願いしたい。
- ・ また、相談機能が発揮されてくると、これまであまり取り上げられなかった相談も出てきて、件数としては増えることになるが、その分析をきちっとしていかないと、虐待の場合は、大変な事態を招きかねないので、その辺を十分よろしくお願いしたい。

9 その他

会議の結果概要については、事務局にて取りまとめ、会長に確認していただき、一任いただくことで了承を得る。